

## J A庄内たがわ 農産加工技術研修施設 女性部の「手づくり味噌」 今後の方向性は

J A庄内たがわ農産加工技術研修施設では、J A女性部員で構成する「J A生活シーダー」が、手づくり味噌や、孟宗・月山筍などの缶詰加工、豆腐づくり、しょうゆの実麹（こうじ）など農産加工の普及に力を入れています。この施設は平成12年度に農林水産省の補助事業を受けて建設され、19年が経過し、設備の更新が迫られています。今後の方向性が決まっています。

農協では、不採算部門として施設運営の見直しの考えもあります。組合員からは存続と充実強化を求める声があがっています。

合併前の藤島町農協時代在当时、生活担当として手づくり味噌に取り組んだ元職員の小野寺勇治さんは、「各集落に味噌づくりのグループがあつて、農協婦人部の座談会で要望が出されて始めた。農協の上層部からはコストがかかると言われて反対されたが、組合員の要求にこたえるのが農協だと押し返した。水稲の育苗器を使って米麹を作ったり、大豆を蒸したりしてやっ

たものだ」と言っています。利益をあげる施設ではない

その後、この施設が建設されましたが、農産加工技術の研修施設としての位置づけで、加工販売で利益を上げる施設ではありません。いま、農業の6次産業化といつて、農産物の付加価値を高める経

営手法が注目されており、施設を利用した事業を再構築する必要があります。J A庄内たがわの「女性部手づくりのこだわりみそ」として、30年以上続いている伝統をどう継続、発展させていくのかが問われます



東栄地区の「菊花展」が藤島ふれあいセンターで開催。東栄菊花愛好会主催の菊花展が2日から4日まで3日間、藤島ふれあいセンターで初めて開かれ、ホールいっぱい咲きそろった菊花を楽しむことができました。

### 手づくり味噌加工の流れ



精米をセイロに移し蒸気で蒸す



米に麹菌をむらなく揉み込む



大豆をセイロに入れ蒸気で蒸す



米麹をほぐし塩を入れ、冷ました大豆を混ぜる



味噌すり機にかけ、味噌の素を作り桶に詰め込む（写真提供：藤島庁舎産業建設課エコタウン室）

特に手づくり味噌は、添加物を一切使用しない安全・安心な味噌で、給食センター・サンサンにも100%提供し、地産地消の学校給食と

学校給食に100%

秋も残り少なくなり、降霜があつて見渡す限りものさびしくなった。渡し場は、波が荒々しく着物をぬらしてしまった。また風も強くなり川くだりの乗客も非常にすくなくなり、最上川の激しい波は小船が見え隠れさせるほどである。

雑詠Ⅱ題を決めずに物事を詠じた詩歌。残秋Ⅱ残りの秋。最江Ⅱ最上川。津渡Ⅱ渡し場。勁Ⅱ強い。激浪Ⅱはげしい波。軽航Ⅱ小船。軽くて速い舟。

#### 最江雑詠

残秋霜落望荒涼  
津渡波騒濡衣装  
風勁客舟人半散  
最江激浪隠軽航

#### 最江雑詠

残秋 霜落ちて望 荒涼たり  
津渡 波騒しく衣装を濡す  
風勁くして客舟人半散ず  
最江の激浪 軽航を隠す

#### 城貞（藤の花）



# 海外生活回想記⑫

## オーストラリアのお金の話

新町 齋藤留治

現在、NHKの朝ドラで放送されている「スカレット」の主人公・川原喜美子が、ドラマの中で「私はお金が大好き」というセリフに、思わず脚本家の顔が浮かぶようでした。お金は大事なものと、母親のお腹の中にいる時から学んでいるのか、お年玉を貰うと私の孫達も幼稚園児の頃からニコニコ顔であった。はたして外国のドル札等には、どんな反応を見せるのか試してみたい気もする。

未だEUに統合される前のヨーロッパに行った時は、国境を越えるとフランとかマルク等に通貨が変わるので、ややこしいかったが、慣れないともっとややこしかったのはオーストラリア通貨、単位は\$（ドル）と¢（セント）で、紙幣は5種類、硬貨は6種類（日本は10種類）と、日本とあまり変わりませんでした。

紙幣は世界的にも珍しいビニールポリマー製（プラスチック紙幣とも呼ばれる。）で、手で破ることは難しく、うっかり洗濯しても大丈夫な、非常に綺麗な紙幣であった。

紙幣は日本のより小さく、お金にあまり縁のない私のがま口（財布）で、持ち歩くことも日本と似ていたので

あまり不便ではなかった。

厄介なのはコインで、5、10、20、50の4種類のセントコインと、1、2と2種類のドルコインがある。

1ドル・2ドルの単位の硬貨には、その日の為替レートを懸けられ



紙幣の裏側にあるコップが見えるってすごい

ば、大体日本円でいくらになるか判るのだが、ピンとこないのがセント硬貨。

まず形の大きいのが、普通に考えれば2ドル硬貨が一番大きくて、値が小さくなると大きさも小さくなると考えるが、そうならないでコインの中で一番値の高い2ドルコインが一番小さく、その4分の1の値しかない5セントコインが一番バカで

かく、財布ではなくビニール袋等に入れないと持ち歩けないような厄介コインであった。（続きは後日に）

## 世界の国々

### モルドバ 盛んなスポーツと人身売買

青山 崇



モルドバは、来年の東京オリンピックで、西川町と鶴岡市のホストタウンである。

ウクライナとルーマニアに囲まれ、黒海の北西に位置する東ヨーロッパの国である。国土面積は九州とほぼ同じ、平野に丘や森が点在する丘陵地帯で



しかし、気候変動が

激しく高温・干ばつ・雹などによる被害も多発する。

日本や国際組織の援助が追いつかず、4人に1人が国外へ出稼ぎにでている。

さらに、ユニセフによると、世界で人身売買の犠牲になっている18歳未満の子どもは120万人と推定され、その中でモルドバが一番多いことが明らかになった。

この国では毎年数千人の女性が、人身売買



### 身の丈大臣は首だ

「身の丈」という事はそういうことなんだ。そんな重大なことを十分わかっていながら、3年も前から対策をしないで、今もって「身の丈」と言っているという事は「文部科学大臣クヒたせ・ンナー」。

▲教育の機会均等を常に考ねばならない文科大臣が、「身の丈」を言っちゃおしめーだヨ。彼が言ったことは、自分の置かれている状況でそれなりにやれという事なのだ。それは、試験場が遠くてとか・お金がないとかの人はあきらめれや、というのが身の丈という事。

▲大学入試の変更で出てきた英語の試験方法に、学校側は先生と生徒・その道の専門家と政党も反対を唱え、実施の繰り延ばしや中止も要望されていたんだ

の被害にあつており、その中には18歳未満の子どもたちも数百人はいると考えられ、「児童買春天国」などの汚名をいただいている。

その背景には、オスマン帝国、ロシア、旧ソ連などの長い支配や、国内で今も続く内紛など複雑な問題がある。

スポーツはサッカー・ラクビーなどが盛んで、オリンピックでは、陸上・体操・アーチェリーなどでメダルを獲得している。

が、「身の丈」を謝り取り消しただけだったから、学費に苦労している親御さんと生徒のことに気がついていないんだ。金がたつぷりある大臣さんはネー。

▲してみると、我が集落の酒飲みの話題というのは素晴らしいヨ。「身の丈」なんてトンデモナイ。遠くて金のないものは受けられないのか。しかも2回だぜ。飛行機か新幹線だろ・泊まらねまねなダゼ。そこらへんは国で考えでもらわねばんな・とは、立派な結論。帰ってテレビを見れば実施延期を大臣が言ったとの事だったが。

▲これから実施方法を考えるんだそうだが、ならば、来年実施の国会論議は何だったのサ。英語の会社は一つじゃなく受験料が半分違うぜヨ。同じ問題じゃなからう。ならば点数はどうなるの。受験生を早く安心させてやれや。んな大臣や。（石川）